First Announcement

ILSI Japan 30th Anniversary;
The 6th International Conference on Nutrition and Aging

ILSI Japan30周年記念第6回「栄養とエイジング」国際会議

“超高齢社会のウェルネス － 食料供給から食行動まで”

開 催 日 ： 2011年9月28日（水）、29日（木）、30日（金）
開催場所： 東京大学 弥生講堂・一条ホール
主　　催： 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構（ILSI Japan）

ILSI について

ILSI（International Life Sciences Institute）は、1978 年に、アメリカで設立された非営利の国際的な学術団体です。

健康・栄養・安全性・環境の問題を解決し、正しく理解されることを目指し、また発生しそうな問題を事前に予測して対応していくなど、活発な活動を行っています。現在、世界中の15支部470社以上の企業が会員となって、その活動を支えています。また、非政府機関（NGO）の一つとして、世界保健機構（WHO）とも密接な関係にあり、国連食糧農業機関（FAO）に対しては特別アドバイザーの立場にあります。アメリカ、ヨーロッパをはじめ各国で、国際協調を目指した政策を決定する際には、科学的データの提供者としても国際的に高い信頼を得ています。

特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構（ILSI Japan）は、ILSIの日本支部として1981 年に設立され、本年で設立30周年を迎えます。ILSI の一員として世界的な活動の一翼を担うとともに、日本独自の問題にも積極的に取り組んでいます。

会議のねらい

わが国では出生率が死亡率を下回り、超高齢化が加速度的に進んでいます。より若いうちから生活習慣病を予防しなければ、健康な高齢期を迎えられないことは、一般にも既に周知されています。しかし、高齢者が健康な日々を過ごすための食行動における現状とあり方、さらに、栄養および身体活動のあり方について、意識をもつ栄養・医療関係者は未だに多くはなく、従来の“食事・運動”の栄養指導を高齢者に当てはめようとする傾向があります。健康的な高齢期を過ごすためには、高齢期にふさわしい栄養・身体活動のあり方について広く知見を集め深めていく必要があります。また、国際的な動向、考え方についても議論ができることを期待しております。したがって、今、第６回は、健康的な高齢期を過ごすという視点から、高齢期の脳機能等に及ぼす身体活動と栄養の諸問題をめぐる最近の研究と課題について、内外の研究者が報告すると共に、今後の方向について討議します。また、基礎的研究上の新知見に加えて、食品・医薬品および関連産業が高齢化社会にいかに寄与していくことができるかについても討議が展開され、また、ポスターセッション、企業展示も予定されています。

ここで得られる知見をもとに、食品・医薬品および関連業界に、長寿と健康に貢献できる魅力ある製品やフードサービスの開発に際してのヒントを与え、今後の高齢化社会に備えて、関連する科学の発展に寄与し、産業界の進むべき方向への示唆につながるものと確信しております。

会議の内容

世界に先駆け超高齢社会に突入したわが国では、社会の仕組み、社会のコミュニティーの有り様、福祉等新たな社会を再設計することが求められています。

後期高齢者にあっては肉体的な健康問題以上に生き甲斐、こころの有り様が大きな課題です。第 6 回「栄養とエイジング」国際会議では、超高齢者社会の課題、高齢者の食の選択、食文化、身体活動と栄養、脳機能に及ぼす栄養の関係等、幅広く講演、討論ならびにポスターセッションが行われます。合わせて、ライフステージ別に焦点を合わせた栄養補助食品や、生活習慣病予防の観点から開発された機能性食品、および関連素材の展示を予定しています。

また、国際会議のサテライト集会として、ILSI Japan 設立 30 周年記念事業の講演会が開催されます。

1. 国際会議

本会議はプログラムの項にありますように、以下のセッションを設けています。日米欧さらにアジア諸国からの参加者による以下の討論を予定しています。

・超高齢社会の課題として、社会コミュニティーの変容とウェルネスの問題と食料需給の現状と今後の課題につて検討します。
・食の選択に関して、何を選び、いつ食べることが適切なのか検討します。
・食文化と高齢化に伴う疾病について、日本の食事内容を他の国々と対比しながら考えます。
・加齢現象に及ぼす身体活動と栄養の役割を多面的に討論します。
・高齢期の脳機能に及ぼす様々な要因について最新の学術的進展をもとに討論します。

2. ポスターセッション
3. 企業展示
4. サテライト集会
   ・東京大学寄付講座「機能性食品ゲノミクス」
   ・ILSI Japan 研究会・部会の研究報告会

プログラム

トピックス：超高齢社会の課題
セッション1：食の選択　－何を選択し、いつ食べるか？－
セッション2：食文化と疾病構造
セッション3：身体活動と栄養の役割
セッション4：栄養と脳の高齢化

ポスターセッション
上記講演分野に関連した領域のポスターによる研究発表

サテライト集会
東京大学寄付講座「機能性食品ゲノミクス」
ILSI Japan 研究会・部会の研究報告会

組織委員会

委 員 長：木村 修一（ILSI Japan 理事長、昭和女子大学大学院特任教授）
委　　員：青山 敏明（日清オイリオグループ株式会社　執行役員）
岩元 睦夫（（社）農林水産先端技術産業振興センター理事長）
上野川 修一（日本大学生物資源科学部教授）
桑田 有（人間総合科学大学大学院　人間総合科学研究科教授）
小林 修平（人間総合科学大学　健康栄養学科長　人間科学部教授）
坂田 隆（石巻専修大学　学長）
髙瀬 光徳（森永乳業株式会社　常務執行役員　栄養科学研究所長）
辻村 英雄（サントリーホールディングス株式会社　常務執行役員）
戸上 貴司（元）日本コカ・コーラ株式会社　相談役）
西山 徹（元）味の素株式会社　技術特別顧問）
福島 昭治（中央労働災害防止協会　日本バイオアッセイ研究センター）
益田 和明（株式会社ニチレイフーズ　常務執行役員）
町田 千恵子（ネスレ日本株式会社　生産本部学術課課長）
松山 旭（キッコーマン株式会社　執行役員）
安川 拓次（花王株式会社　執行役員　事業グループ長）
Suzanne Harris（Executive Director, ILSI）　（敬称略、順不同）
実行委員：栄養研究部会、ILSI Japan 事務局

用語

日本語、英語（同時通訳付）

参加登録料

会 員 ：30，000円（7／31迄の事前登録　25，000円）
非会員：35，000円（7／31迄の事前登録　30，000円）
学 生 ：5，000円

ポスターセッション参加登録料（設備利用料として）

一律5，000円

企業展示登録料（設備利用料として）

一律10，000円

＊プログラムや参加登録を含むセカンドサーキュラーが必要な方、またポスターセッション発表ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5215-3537)または E-mail (aging@ilsijapan.org)にてお申し込みください。

ILSI Japan
特定非営利活動法人　国際生命科学研究機構
〒102-0083
東京都千代田区麹町 2-6-7 麹町 R・K ビル1階
TEL　03-5215-3535
FAX　03-5215-3537
http://www.ilsijapan.org/

ILSI Japan30周年記念第6回「栄養とエイジング」国際会議

“超高齢社会のウェルネス － 食料供給から食行動まで”

申 込 書

国際生命科学研究機構行（FAX 03-5215-3537）

セカンドサーキュラーは　必要（　　部）　不必要

出席を　予定している　未定

ポスターセッションでの発表を　予定している　検討したい　希望しない

ポスター演 題

ご氏名

ご所属

ご住所 〒

電話番号

FAX 番号

メールアドレス

企業展示を　予定している　検討したい　希望しない